

企画展

文士の手紙

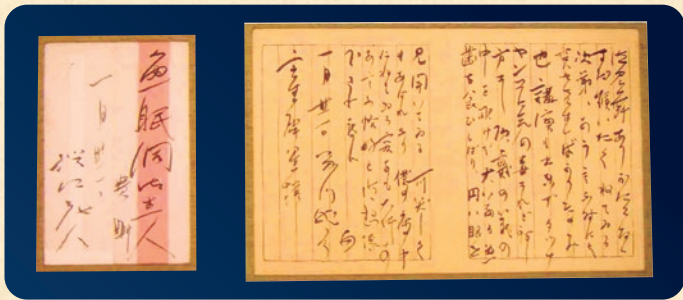
～大切な人だけに見せた文士の素顔～

芥川龍之介、室生犀星ら田端文士が、家族、友人など親しい人へ宛てた手紙を展示し、文面に込めた思いや、そこから読み取れる人物像、性格、意外な一面など“文士の素顔”をご紹介します。

平成27年10月1日(木)～11月29日(日) ※休館日をのぞく

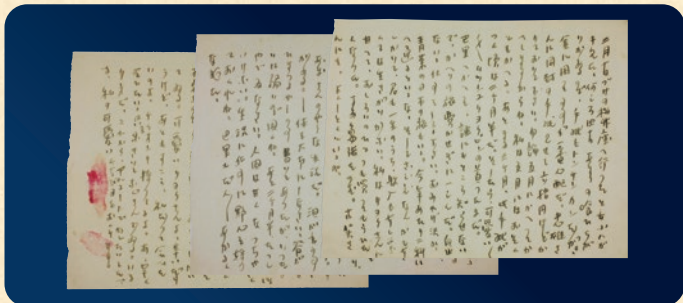


主な展示品



芥川龍之介 室生犀星 宛 (大正14年1月)

風邪で寝込む龍之介のもとに、犀星から見舞いの品が届いたことに対する礼状。文中で、堀辰雄を「タツチヤンコ」と呼ぶなど、文士たちの親しい間柄がうかがえる。



林美美子 緑敏 宛 (昭和7年2月)

※新宿区立新宿歴史博物館蔵

パリから夫に宛てた愛の手紙。「私の可愛いくちびるをおくります」とあり、キスマークがついている。

☆関連講座 無料

田端ひととき散歩 館内説明・散策 各1時間

「文士の手紙～大切な人だけに見せた文士の素顔～」

10月17日(土) 13:00～(12:30開場) 【当日先着80名】

●講師：記念館研究員 ●会場：田端文士村記念館多目的ホール

企画展で展示中の「文士の手紙」について詳しく解説するほか、田端文士の心温まる手紙をご紹介します。その後、旧居跡などを散策します。

●宛先・お問い合わせ (公財) 北区文化振興財団

〒114-0014 北区田端 6-1-2 TEL 03-5685-5171

URL: <http://www.kitabunka.or.jp/tabata/>

開館時間：午前10時から午後5時まで(入館は4時30分まで)

●会期中の休館日：10月5日(月)、13日(火)、14日(水)、19日(月)、26日(月)、11月2日(月)、4日(水)、9日(月)、16日(月)、24日(火)、25日(水)、30日(月)

田端文士村記念館

TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



入館料 無料

全集未収録 萩原朔太郎書簡を初公開!



本展では、萩原朔太郎が田端在住の女流歌人・森房子に宛てた書簡(多数)を初公開いたします。歌会を通して出会った二人が、交際を深めていく機微を感じ取れる貴重な資料です。

* 森房子 (1910-2010) 歌人

中河幹子(朔太郎と交友のあった小説家・歌人の中河与一夫人)が主宰する短歌会「ごぎやう」(のち「をだまき」)の編集同人をつとめる。田端には昭和9～17年頃居住。

☆団体利用のご案内

無料

学校、文学・歴史愛好団体向けに、研究員がご案内を行っております。10名様以上の事前申込制となっておりますので、お問い合わせ下さい。

時間の目安：館内見学45分+散策1時間

※館内のみ、散策のみも可能です。

※日程調整が必要となりますので、お早めにお申し込み下さい。



*専用駐車場・駐車場はございません。